

●公益法人 d b Version 6.202、公益法人Ⅲ d b Version 5.202

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっております。

- ◆ SQLServer2012 ⇒ SQLServer2005 へのマスター移動に対応しました。
  - 弊社では、SQLServer2012 と SQLServer2005 をデータベースシステムとして採用しておりますが、従来、SQLServer2012 システムで作成したマスターを SQLServer2005 システムに移動させることは出来ませんでした。  
当プログラム (VERSION:5.202、6.202) の通信・移動業務の「メール通信・メディア移動」業務で作成した送信 (転送) マスターから、SQLServer2012⇔SQLServer2005 の相互間移動が可能になりました。

※SQLServer2012 ⇒ SQLServer2005 へマスター移動する場合は、必ず、送信側・受信側共に対応プログラムをインストールしてから送受信を行うようにしてください。

※「財務マスターコピー」業務は SQLServer2012⇒SQLServer2005 へのコピーには対応していません。

- ◆ その他の改良、修正を行いました。

詳細は、次ページからの“公益法人Ⅲα (VERSION:5.202)、公益法人α (VERSION:6.202) の変更点”を参照してください。

## 改 良

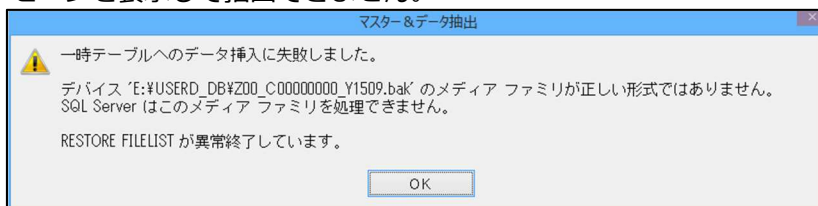
### I. SQL2012⇒SQL2005 へのマスター入替対応

SQL2012 から SQL2005 へのマスター入替に対応しました。

今回の通信・移動で作成した送信データ (IZM ファイル) から SQL2005 への「マスター全体入替」(修正可能転送時は「マスター送信」)での移動が可能になります。(SQL2005 から SQL2012 へのマスター入替には従来から対応しています。)

送信側 (SQL2012) ・受信側 (SQL2005) 共対応プログラムをインストールしてから、送受信を行うようにしてください。

いずれかが未対応プログラムの場合は、受信側 (SQL2005) でのマスター&データ抽出時に従来通りのメッセージを表示して抽出できません。



マスター全体入替、マスター送信 (修正可能転送時)

SQLServer2012		SQLServer2005	転送可否
改良前	⇒	改良後	否
改良後	⇒	改良前	否
改良後	⇒	改良後	可

※「財務マスターコピー」は、SQL2012 から SQL2005 へのコピーには対応しておりません。

## その他改良・修正

### I. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力

##### ①伝票入力

- ・伝票形式で、金額が 0 円でも対価が入力されている場合は伝票登録するようにしました。

#### 2) 元帳検索

##### ①元帳検索

- ・「元帳検索」から「残高問い合わせ」に戻り、別の科目を選択した時、月計が正しく集計されない場合があったのを修正しました。部門表示で税処理方式を既定以外に切替えているような場合に月計が 0 円となる場合があります。
- ・税額欄での貼付け機能を不可とするようにしました。(税額修正モード時は除く)
- ・金額修正した後の速度を改善しました。
- ・貸借修正で主科目を変更すると、該当仕訳が一覧から消え、次仕訳にカーソルが移動するが、スクロールバーが途中にある状態で行くと次仕訳が画面上の最下部に移動していたのを、修正時の仕訳の位置に止まるようにしました。

### 3) 伝票発行

#### ①F12 出力条件設定：範囲選択

- ・「出力順」の指定を追加しました。  
[日付順] と [伝票番号順] が選択できます。

範囲選択 | 出力選択 | 現金設定

ユーザー 全ユーザー

出力期間 28年10月01日 ~ 28年10月31日

伝票番号 0 ~ 9999999

シリアル番号 1 ~ 191

出力順 日付順  
日付順  
伝票番号順

出力伝票タイプの選択

通常入力仕訳  振替伝票入力仕訳

出納帳入力仕訳  入出金伝票入力仕訳

現金取引仕訳を出力しない

#### ②F12 出力条件設定：出力選択

その他

伝票下部への会社名の出力

区切りマークの出力

同一日付仕訳が複数ページにまたがる場合に頁計を出力する

伝票形式と他形式で改ページしない(伝票形式仕訳の部門名称出力)

内税仕訳の税額を出力しない

付箋を出力する

一括税抜き仕訳の出力  
 一括税抜き仕訳のみ出力する

通常集計

諸口を詰めずに出力する  
空欄にする

- ・「付箋を出力する」を追加しました。  
摘要欄右上に「付1」～「付5」を出力します。  
※付箋コメントは出力できません。  
※下記の「一括税抜き仕訳のみ出力する」にチェックがある時は選択できません。
- ・「一括税抜き仕訳のみ出力する」を追加しました。  
一括税抜き仕訳のみの伝票発行を行います。  
※「一括税抜き仕訳の出力」にチェックがある時に選択可能です。  
※「伝票形式と他形式で改ページしない(伝票形式仕訳の部門名称出力)」「内税仕訳の税額を出力しない」「付箋を出力する」のいずれかにチェックがある時は選択できません。

### 4) 定型仕訳登録

#### ①定型仕訳登録

- ・ユーザー単位で登録していても、次回起動時にマスター単位(オプション「マスター単位で定型仕訳を使用する」にチェックが付いている状態)に戻っていたのを修正しました。

オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

マスター単位で定型仕訳を使用する

仕訳行 1行⇄2行 表示切替

## II. 通信・移動

---

### 1) 通信・移動

#### ①会計事務所へマスター&データ送信・移動

#### ②マスター&データ抽出

- ・通信移動のマスター抽出業務において、試算表等の F6“項目登録”内にある「コメント」入力を開いたことがないマスターから「コメント」入力を開いたことがあるマスターにマスター入替で上書きした時、「テーブルの挿入に失敗、(マスター番号).dbo.cmntrec が無効です」とメッセージが表示され抽出ができなかったのを修正しました。
- ・送信時に同一マスターの選択をできないように制御しました。
- ・マスター&データ抽出の複数起動をできないように制御しました。
- ・マスター&データ抽出で、OCR 処理マスターに月入替又はマスター入替を行った時に、未送信退避仕訳のイメージ摘要が退避仕訳復元で復元できていなかったのを修正しました。同じ摘要イメージが表示されたり、「イメージ摘要」と表示されたりしていました。
- ・転送種別・処理選択の設定を保持するようにしました。
- ・処理選択を切替後、転送種別の画面を開くと、処理選択が起動時の状態に戻っていたのを修正しました。
- ・仕訳挿入を行っているマスターで SEQ 指定で移動させる場合、挿入仕訳が含まれない場合があったのを修正しました。※「挿入仕訳の整理」を行っている場合は問題ありません。
- ・「メディアへ転送」で月末締め以外の決算期間のマスターで、月入替で抽出した時にファイル名の〇月～〇月の表示が入力月を表示していたのを処理月で表示するようにしました。  
例 26/5/21～27/5/20 の決算期間で、6月～9月の月指定で抽出すると5月～9月と表示されていたのを6月～9月と表示するようにしました。  
(メール送信時の本文、抽出選択画面の受信日に表示されるデータ情報部分も対応)

以上